令和　８年（ケ）第　　５４号

期　間　入　札　の　公　告

令和　８年１１月２４日
鹿児島地方裁判所民事第３部
裁判所書記官　宮　里　真　司

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和　８年１２月　９日から 令和　８年１２月１６日まで	
開札期日	日　時	令和　８年１２月２３日　午前　９時００分
	場　所	鹿児島地方裁判所売却場
売却決定期日	日　時	令和　９年　１月１３日　午前１０時００分
	場　所	鹿児島地方裁判所民事第３部
買受申出の保証の提供方法	下記のいずれかによる。 （１）当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 （２）銀行，損害保険会社，農林中央金庫，株式会社商工組合中央金庫，全国を地区とする信用金庫連合会，信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。	
買受申出の資格の制限（民事執行規則３３条）	☆印を付した物件は農地であるので，権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り，買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため，物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和　８年１１月２４日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和８年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	4, 530, 000 3, 624, 000	一括	906, 000	77, 513	0
1	450, 000				
2	4, 080, 000				
備考					

令和　８年（ケ）第　　５４号

物　件　目　録

１　所　　在　　鹿児島市本名町

　　地　　番　　１７４５番１２

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２０３．８６平方メートル

２　所　　在　　鹿児島市本名町１７４５番地１２

　　家屋　番号　　１７４５番１２

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　鉄骨・木造スレートぶき２階建

　　床　面　積　　１階　９１．７６平方メートル
　　２階　８０．００平方メートル

令和　8年（ケ）第　　54号

物　件　明　細　書

令和　8年10月19日
鹿児島地方裁判所民事第3部
裁判所書記官　宮　里　真　司

1　不動産の表示
【物件番号1，2】
別紙物件目録記載のとおり

2　売却により成立する法定地上権の概要
なし

3　買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1，2】
なし

4　物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号1，2】
本件所有者が占有している。

5　その他買受けの参考となる事項
なし

《注　　意　　書》

1　本書面は，現況調査報告書，評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して，裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり，関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。

2　記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし，記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので，必ず，現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。

3　買受人が，占有者から不動産の引渡しを受ける方法として，引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は，「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

4　対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5　各種「詳細説明」は，閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。（このほか，ＢＩＴのお知らせメニューにも登載されています。）

令和　8年（ケ）第　　54号

物　件　目　録

1　所　　在　　鹿児島市本名町

　　地　　番　　１７４５番１２

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２０３．８６平方メートル

2　所　　在　　鹿児島市本名町１７４５番地１２

　　家屋　番号　　１７４５番１２

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　鉄骨・木造スレートぶき２階建

　　床　面　積　　１階　９１．７６平方メートル
　　２階　８０．００平方メートル

令和８年(ケ)第５４号
令和８年８月３日受理
令和８年９月１０日提出

現況調査報告書

鹿児島地方裁判所
執行官　大　江　宏　明（印）

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

令和　8年（ケ）第　　54号

物　件　目　録

1　所　　在　　鹿児島市本名町

　　地　　番　　１７４５番１２

　　地　　目　　宅地

　　地　　積　　２０３．８６平方メートル

2　所　　在　　鹿児島市本名町１７４５番地１２

　　家屋　番号　　１７４.5番１２

　　種　　類　　居宅

　　構　　造　　鉄骨・木造スレートぶき２階建

　　床　面　積　　１階　９１．７６平方メートル
　　２階　８０．００平方メートル

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	（住居表示未実施）
土地	物件１
現況地目	■宅地（物件１） □公衆用道路（物件　） □　　（物件　）
形状	■公図のとおり　□地積測量図のとおり □建物図面（各階平面図）のとおり　■土地建物位置関係図のとおり
占有者及び占有状況	■土地所有者　□その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している □「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物（目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
その他の事項	北西側及び南東側が私道に接する。ブロック塀、フェンス、側溝等により隣地との境界は概ね明瞭であると考えられる。
建物	物件２
種類、構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である □公簿上の記載と次の点が異なる（□主たる建物　□附属建物） □種　類： □構　造： □床面積：
物件目録にない附属建物	■ない □ある　種　類： 構　造： 床面積：
占有者及び占有状況	■建物所有者　□その他の者 上記の者が本建物を「住居」として使用している □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地（目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
その他の事項	さしかけ、スチール製簡易物置、アルミテラス、ウッドデッキが存する。リビング、洗面所に雨漏り跡が存する。従物等として屋根に太陽光発電システムが設置されている。以前室内に猫を入れていたというが、特に動物臭は存しない。
執行官保管の仮処分	■ない □ある　　地方裁判所　　支部　令和　　年（　）第　　号 保管開始日　令和　　年　　月　　日
土地建物の位置関係	□建物図面（各階平面図）のとおり　■土地建物位置関係図のとおり

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等

陳述者 （当事者等との関係）	陳述内容等
債務者兼所有者	1　対象物件は私が住居として所有し、占有しています。近隣との境界トラブルはありません。北西側の道路（１８２６－６）から出入りしています。 2　元々１階と２階は世帯が別々であり、水道や電気も別々でした。足が悪くなったため、現在２階は使っていません。２階は雨漏り、シロアリ被害はないと思います。 3　１階は元々ガレージでしたが、平成２４年頃に柱、壁を作って居宅にしました。風呂はボイラーが壊れて使っていません。リビングに雨の伝い漏れによる雨漏りが数か所あります。妹の子どもによる穴が洋室の壁にあります。以前ネコを室内に入れていましたが、現在は外で飼っています。壁のクロスにネコのひっかき傷が所々あります。 4　屋根のソーラーシステムは自己の所有物です。現在、稼働するかどうか分かりません。 5　本物件が裁判所で売りに出されるときには、通知をください。

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

（執行官の意見用）

執 行 官 の 意 見

1　対象物件の形状等は、２枚目のとおりである。
2　対象物件の占有状況は、現場の状況、関係人の陳述等から２枚目のとおりと認めた。
3　周辺地は次のとおり（地番、地目、地積、所有者の順に記載、①～⑤は筆界未定地）である。
　①　１７４５番１０、雑種地、２０㎡、私人
　②　１７４８番１３、公衆用道路、５８４㎡、私人共有
　③　１７４８番７１、宅地、２．０４㎡、私人
　④　１７４８番７２、宅地、１．６３㎡、私人
　⑤　１７４８番７３、宅地、５．９５㎡、私人
　⑥　１８２６番６、公衆用道路、６０３㎡、私人共有

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

（調査経過用）

調　査　の　経　過

調　査　の　日　時	調　査　の　場　所　等	調　査　の　方　法　等
令和８年８月７日	鹿児島市役所	税務関係資料交付申請
令和８年８月１０日 9：15－9：25	物件所在地	物件確認・外観写真撮影
令和８年８月１２日 10：45－10：50	鹿児島市役所	税務関係資料受領
令和８年８月１２日 10：53－11：08	鹿児島地方法務局	全部事項証明書交付申請（目的外土地１８２６番６等）
令和８年８月１２日	当庁（郵送）	現況調査期日通知書発送
令和８年８月１７日 15：15－15：20	当庁（電話）	債務者兼所有者から事情聴取
令和８年８月２４日 13：20－14：25	物件所在地	占有確認・立入調査・写真撮影・評価人同行、債務者兼所有者から事情聴取
年　月　日 ：　－　：		

（特記事項）

□　令和　　年　　月　　日
　目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

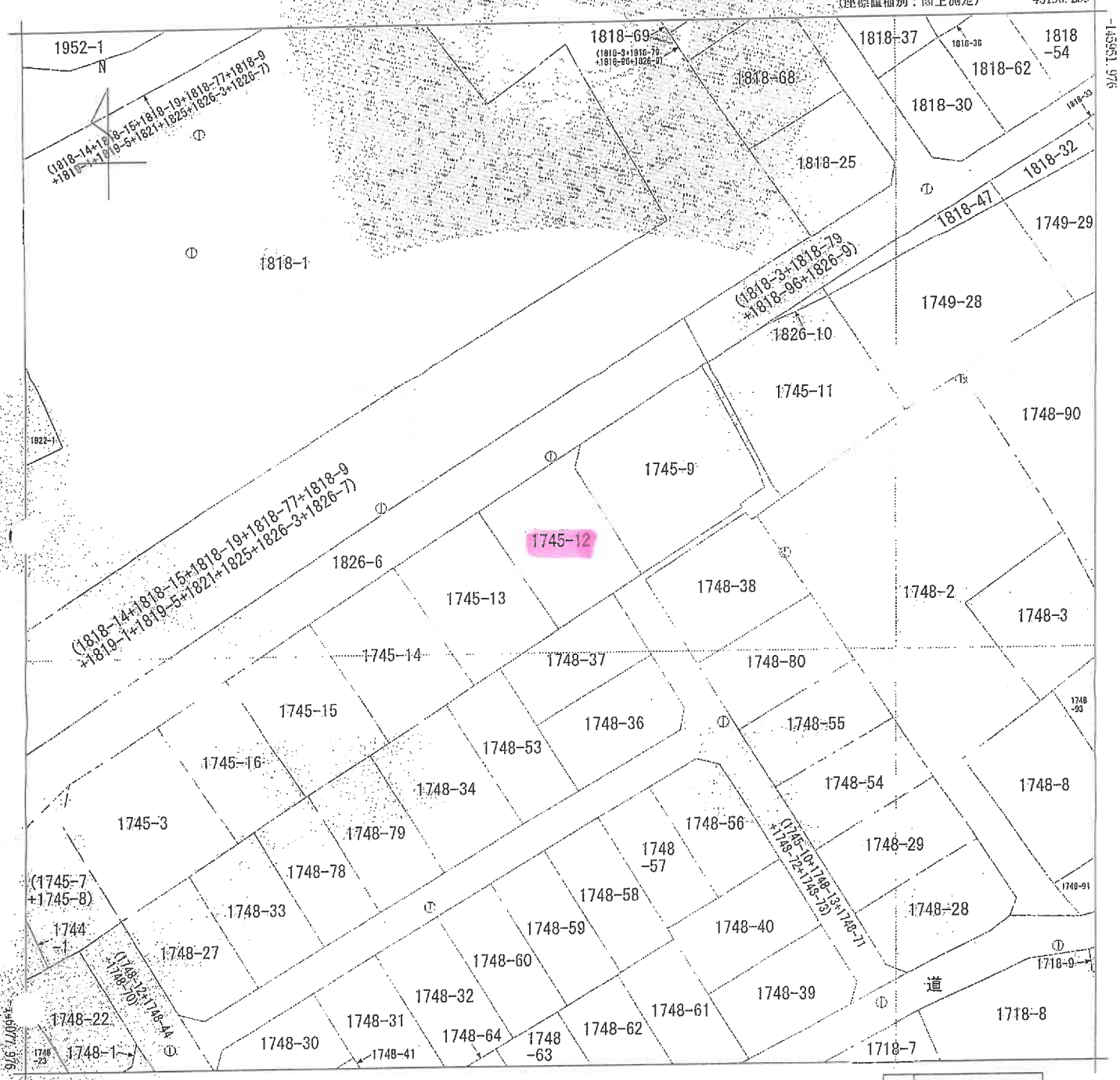
□　令和　　年　　月　　日
　目的物件は不在で施錠されていたので、立会人　　を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

□　令和　　年　　月　　日
　休日・夜間執行許可の提示をした。

□

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

A3判をA4判に縮小した



地番区域見出	本名町

請求部分	所在	鹿児島市本名町				地番	1745番12		
出力縮尺	1/500	精度区分	乙一	座標系番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)	種類	地籍図
作成年月日				備付年月日(原図)				補記事項	

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年5月19日
鹿児島地方法務局
登記官

請求番号：45-1
(1/1)

(6 枚目)

登記年月日：平成24年6月7日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和８年５月19日
鹿児島地方法務局
登記官

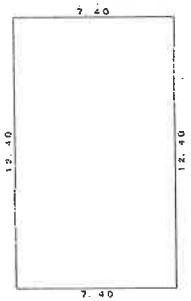
（枚目）

各階平面図

建物図面

家屋番号	１７４５番１２
建物の所在	鹿児島市本名町１７４５番地１２

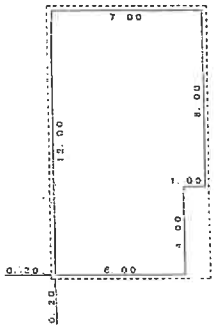
1階



求積表

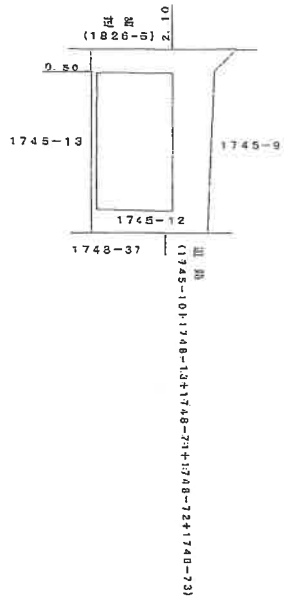
7.40 × 12.40 =		91.7600
床面積		91.76㎡

2階



求積表

7.00 × 8.00 =		56.0000
5.00 × 4.00 =		24.0000
合計		80.0000
床面積		80.00㎡

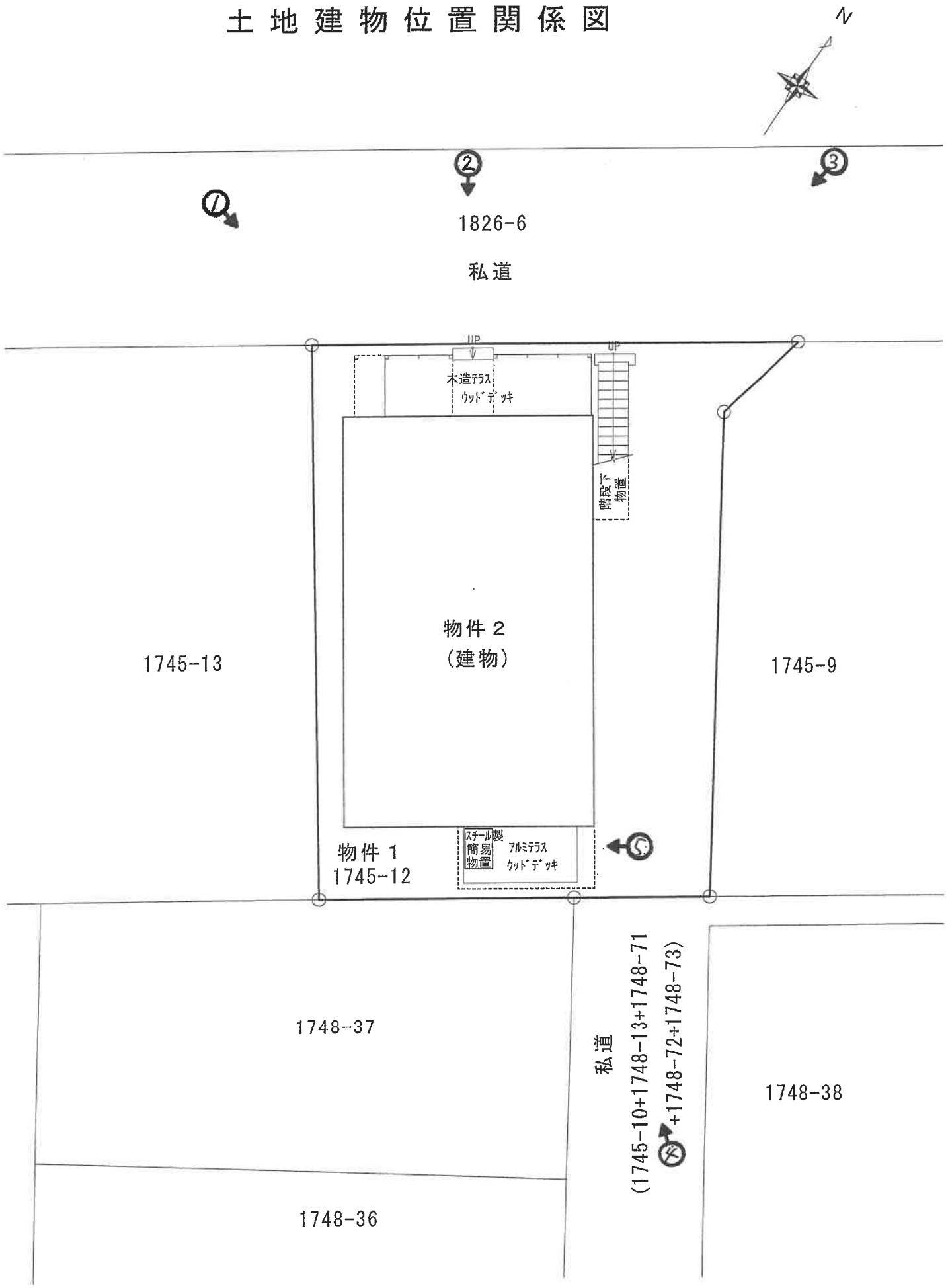


作製者		縮尺	1／250	申請人	縮尺	1／500

A3判をA4判に縮小した

請求番号：45-2

土 地 建 物 位 置 関 係 図

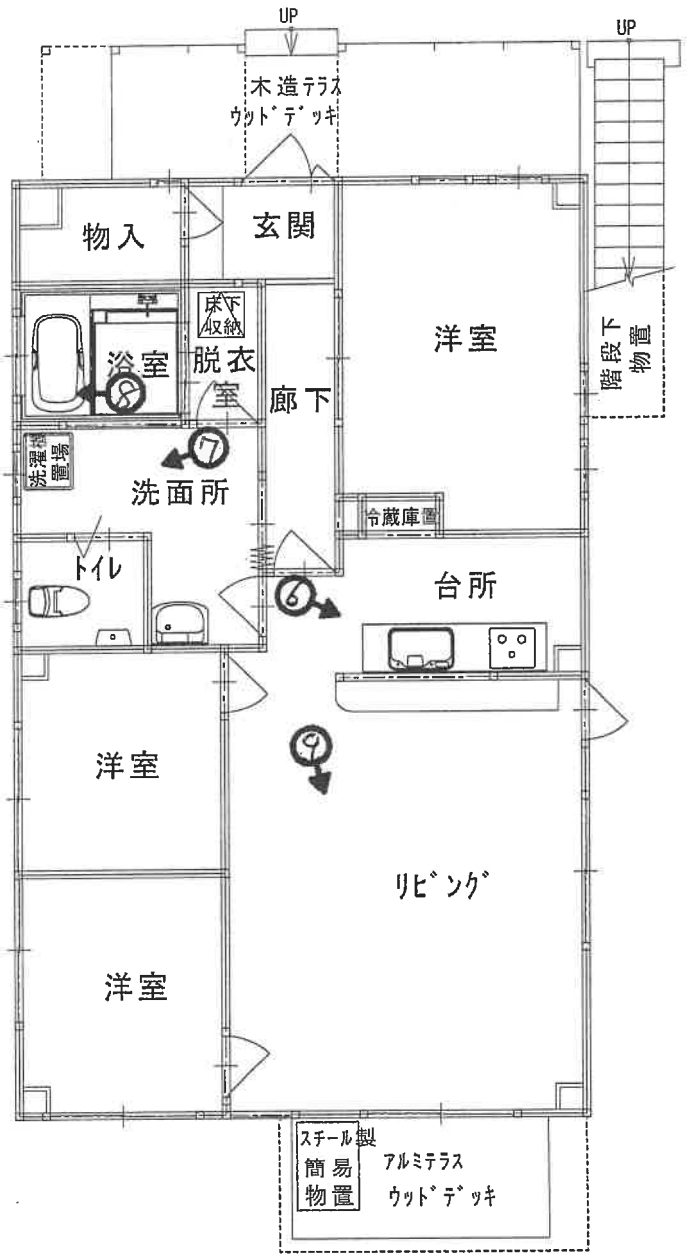


※ 本図面は概略図であり、正確な図面ではありません。

←○写真撮影位置方向

（ 8 枚目）

建 物 間 取 図



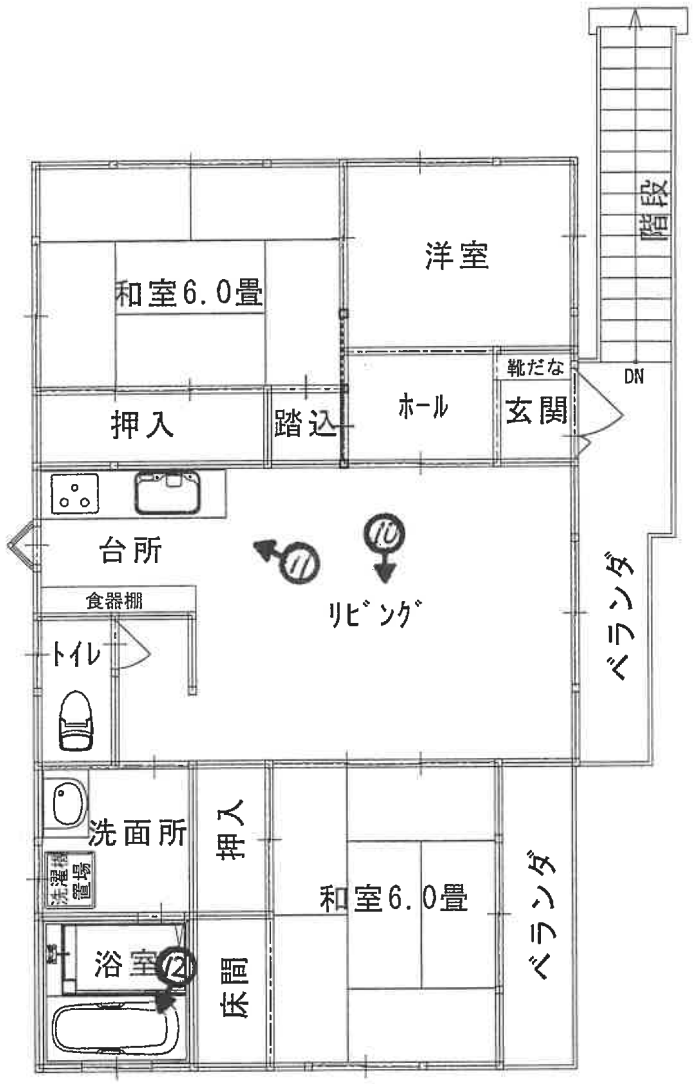
1階　平面図

※ 本図面は概略図であり、正確な図面ではありません。

（ 9 枚目）

←○写真撮影位置方向

建 物 間 取 図



2階　平面図

※ 本図面は概略図であり、正確な図面ではありません。

（10 枚目）

←○写真撮影位置方向

①北西側



私道（１８２６－６）

②本建物玄関



③北側



（　／／　枚目）

④南東側





⑤ウッドデッキ

スチール製簡易物置



⑥１階台所



⑦１階洗面所

雨漏り跡



⑧１階浴室



⑨１階リビング

雨漏り跡

⑩２階



⑪２階台所



⑫２階浴室



令和　8　年（ケ）第　　54　　号
令和　8　年　　8月　24日　現地調査
令和　8　年　　9月　10日　評　　価

鹿児島地方裁判所　御中

評　　価　　書

評価人　不動産鑑定士
柳元　健吾

第1　評価額

一　括　価　格	
金　4,530,000　円	
内　訳　価　格	
物件1(土地)	金　450,000 円
物件2(建物)	金　4,080,000 円

1.　一括価格は、物件1及び物件2の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の価格である。

2.　内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。

3.　物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2　評価の条件

1.　本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
　したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。

2.　評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。

3.　現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

4.　物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3　目的物件

※現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じ。

番号	所在等	登記	現況
1	所在 地番 地目 地積	鹿児島市本名町 1745番12 宅地 203.86㎡	
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	鹿児島市本名町1745番地12 1745番12 居宅 鉄骨・木造スレートぶき2階建 1階　91.76㎡ 2階　80.00㎡	
番号	特記事項		
	特記すべき事項はなし。		

第4　目的物件の位置・環境等

1　土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	鹿児島市役所吉田支所の南西方　約　3.5　km 「中原中」バス停の北方　約　330　m 本名小学校の南方　約　2.0　km （いずれも直線距離　別添「位置図」参照）
付近の状況	受命物件の存する地域は、鹿児島市役所吉田支所の南西方約3.5km（直線距離）に位置する。当該地域は、低層戸建住宅を中心とした造成された住宅地域である。鹿児島市郊外で、空地等が認められ、その成熟の程度は低いが、今後も当面、現在の地域環境を維持するものと推定される。
主な公法上の規制等（道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分　：　都市計画区域外 用途地域　：　－ 建ぺい率　：　－ 容積率　：　－ 防火規制　：　－ その他の規制　：　無 上記「－」の項目は都市計画区域外のため定めがない。
画地条件	地積　：　203.86㎡ 規模　：　概ね標準的 間口　：　約14.2m 奥行　：　約16.8m 形状　：　ほぼ整形 地勢　：　概ね平坦地 高低差　：　北西側で接面する私道と概ね等高 南東側で接面する私道と概ね等高 接面道路との関係　：　二方路 その他　：　特になし
接面道路の状況	北西側約6.0m舗装私道(*1) 南東側約4.0m舗装私道(*1) *1都市計画区域外のため建築基準法上の道路種別はない。
土地の利用状況等	執行官作成の「現況調査報告書」をご参照。 隣地については、工場(東側)、戸建住宅(西側)、空地・道路(南側)、道路(北側)である。
供給処理施設	上水道：有り ガス配管：無し 下水道：無し
土壌汚染の可能性の調査	現地調査、当事者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では土壌汚染をうかがわせる事実は認められなかった。ただし、評価人としての調査には限界があり、詳細については専門家による調査を要する。

特　記　事　項	① 土地(物件1)の全域に、建物(物件2)の法定地上権が及ぶ。 ② 土地(物件1)は、鹿児島市管理部文化課に問い合わせたところ、周知の埋蔵文化財包蔵地には該当していない旨の回答を得た。 ③ 土地(物件1)と隣接地との境界付近の状況等については、執行官作成の「現況調査報告書」をご参照。

2 建物の概況及び利用現況（物件2）

区　　分	主である建物(特記事項⑥ご参照)
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日(登記記録)：平成 14 年 5 月 27 日新築 経過年数：24 年(既存部分) 経済的残存耐用年数：6 年(既存部分)
仕　　様	用　途：居宅 構　造：鉄骨・木造 屋　根：スレート葺 外　壁：サイディング 内　壁：ビニールクロス等 天　井：ビニールクロス等 床　：畳・フローリング等 設　備：水道・電気・トイレ等 その他：太陽光発電システム
床面積（現況）	1階:91.76㎡ 2階:80.00㎡ 延床面積:171.76㎡
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：建物間取図ご参照
品　　等	普通
保守管理の状態	保守管理の状態は劣る(特記事項⑦ご参照)。
建物の利用状況	執行官作成の「現況調査報告書」をご参照。

特　記　事　項	① 太陽光発電システムが存在している。関係人の陳述等によると、太陽光発電システムは自己所有であるとのことであった。 ② 太陽光発電システムについて、建物(物件2)の2階室内にパワーコンディショナが設置されており、定格出力は5.5kwである。 ③ 関係人の陳述等によると、当該太陽光発電システムは2階部分に対してのみ電力供給が可能であるとのことであった。また、詳細は不明であるが、発電が行われない可能性があるとのことであった。 ④ 従物等として、ウッドデッキ並びにスチール製簡易物置が存するが、特段の経済価値は認められないと判断した。 ⑤ 建物(物件2)は、平成24年6月に1階部分の増築が行われているが、1階及び2階の移動は室内からは移動が出来ない構造となっている。 ⑥ 建物(物件2)は、平成24年6月に1階部分の増築が行われているが、1階及び2階の構造や建築時期が異なる。よって本件においては、既存部分と増築部分の建物価格をそれぞれ査定し、合算した価格を建物(物件2)の価格とする。なお、増築部分の経済的残存耐用年数等については、8頁記載の通り判定した。 ⑦ 調査時点において、2階部分は未使用であったが、室内の汚れ等が目立った。1階部分は所有者が住んでおり、比較的綺麗であったが、雨漏り跡が認められるなどした。以上、これらを総合的に勘案して、先述の通り保守管理の状態を劣ると判断した。 ⑧ シロアリ被害については詳細不明。評価人としての調査には限界があるため、詳細については専門家による調査を要する。 ⑨ 当該建物について、建築時期、構造、種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベストを含有する建材等が使用されている可能性は否定できない。そのため、詳細については専門調査機関の分析調査を要する。

第5　評価額算出の過程

1　基礎となる価格

(1)建付地価格(物件1)

目的土地の建付地価格を次の通り求めた。

番号	標準画地価格 (円／㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	共有持分 割合 オ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ×オ
1	5,750	0.97	203.86	0.95		1,080,000

ア 標準画地価格

地価調査　鹿児島-54

公示価格等　時点修正　標準化補正　地域格差　標準画地価格

$$8{,}500\ 円／㎡ \times \frac{(95.9)}{100} \times \frac{100}{(105)} \times \frac{100}{(135)} = 5{,}750\ 円／㎡$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位 +5

◇地域格差：街路 + 4 %、交通･接近 + 4 %、環境 +25 %、行政 ± 0 %

1.04 × 1.04 × 1.25 × 1.00 ＝ 1.35 (100/135)

イ 個別格差：方位 +1%、二方路 +1%、隣接不動産の状態 -5%(*1)

1.01 × 1.01 × 0.95 ＝ 0.97 (相乗積)

*1 住居系の用途以外の建物と隣接及び近接しており、快適性が劣る画地

ウ 地積：登記記録数量

エ 建付減価補正率：0.95　(建物と敷地との適応の状態、建物の老朽化等を考慮)

(2) 建物価格(物件2)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

主である建物

構成部分	再調達原価 (円／㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	主である建物価格 (円) ア×イ×ウ
*1	275,000	80.00	0.12	2,640,000
*2	180,000	91.76	0.33	5,450,000

*1 既存部分
ア 再調達原価：275,000円/㎡　(太陽光発電システムを含む)
イ 現況延床面積:80.00㎡
ウ 現価率
耐用年数に基づく方法(定額法)と観察減価法を併用し、現価率を査定した。
経過年数　24　年、経済的残存耐用年数　6　年、残価率　5　%
観察減価法による減価率　50　%　(建物内部、外部の保守管理の状態等を考慮)
現価率　＝{　残価率5%　＋　(1-5%)　×　(6年/30年)　}　×　(1-50%)　＝　0.12

*2 増築部分
ア 再調達原価：180,000円/㎡
イ 現況延床面積:91.76㎡
ウ 現価率
耐用年数に基づく方法(定額法)と観察減価法を併用し、現価率を査定した。
経過年数　14　年、経済的残存耐用年数　11　年、残価率　5　%
観察減価法による減価率　30　%　(建物内部、外部の保守管理の状態等を考慮)
現価率　＝{　残価率5%　＋　(1-5%)　×　(11年/25年)　}　×　(1-30%)　＝　0.33

建物価格の合計

番号	既存部分 (円) エ	増築部分 (円) オ	建物価格合計 (円) エ＋オ
2	2,640,000	5,450,000	8,090,000

2　評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記の通り評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 （円） ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 （円） ア×イ
1	1,080,000	法定地上権	0.30	324,000

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 （円） ア	土地利用権等価格の控除及び加算 （円） イ	占有減価修正 ウ	市場性修正 エ	競売市場修正 オ	評価額 （円） （アイ）×ウ×エ×オ
1	1,080,000	－ 324,000	1.00	1.00	0.60	450,000
2	8,090,000	＋ 324,000	1.00	0.81	0.60	4,080,000
一括価格（合計）						4,530,000

ウ 占有減価修正 ： 必要なし

エ 市場性修正 ： 物件2
太陽光発電システムの不具合の可能性 -10%
建物利用の一体性が劣る建物 -10%(*1)
0.90 × 0.90 ＝ 0.81 （相乗積）

*1 特記事項③・⑤(6頁ご参照)を考慮した市場性が劣る要因

オ 競売市場修正 ： 前記「第2 評価の条件」欄記載の競売市場の特殊性による修正

※ 但し、評価額は万円未満切捨てとする。合計が1万円未満のときは、千円未満切捨てとする。

第6 参考価格資料

1 地価調査価格　（　　鹿児島-54　　）

所在	：	鹿児島市本城町634番10
価格	：	8,500　円／㎡
位置	：	発電所前バス停約170m
価格時点	：	令和7年7月1日
地積	：	199　㎡
供給処理施設	：	水道
接面街路	：	南東 7.9m 私道
用途指定等	：	都市計画区域外
地域の概要	：	中規模一般住宅を主体とする住宅地域

2 固定資産税評価額　（ 令和 8年 1月 1日現在 ）

物件	1	835,826 円
物件	2	2,368,307 円 (既存部分)
		3,029,090 円 (増築部分)

第7 附属資料の表示

1 受命物件の位置図

2 住宅地図写し(ゼンリン住宅地図 鹿児島市①2022 09)

3 公図写し

4 建物図面・各階平面図写し

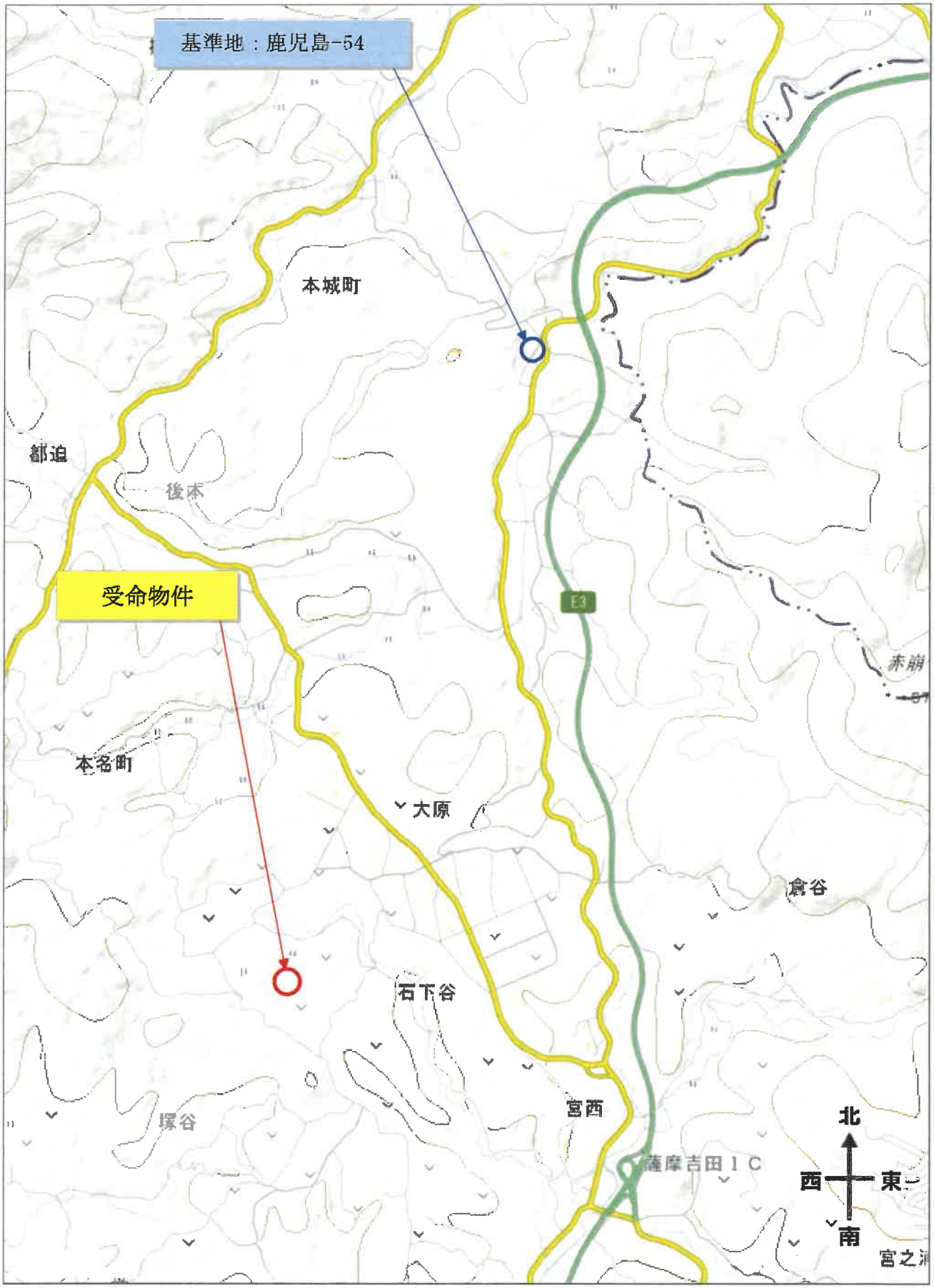
5 土地建物位置関係図

6 建物間取図

7 現況写真

以 上

位 置 図



国土地理院地形図



地番区域見出	本名町

請求部分	所在	鹿児島市本名町				地番	1745番12		
出力縮尺	1/500	精度区分	乙一	座標系番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)	種類	地籍図
作成年月日				備付年月日(原図)		補記事項			

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年5月19日
鹿児島地方法務局
登記官

請求番号：45-1
(1/1)

公図写し
A3をA4サイズに縮小

登記年月日：平成24年6月7日

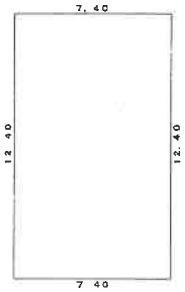
これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年5月19日　鹿児島地方法務局　登記官

各階平面図

家屋番号	1745番12
建物の所在	鹿児島市本名町1745番地12

建物図面

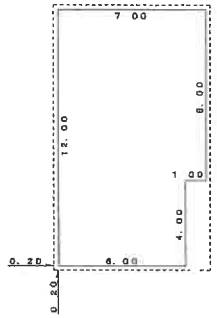
1階



求積表

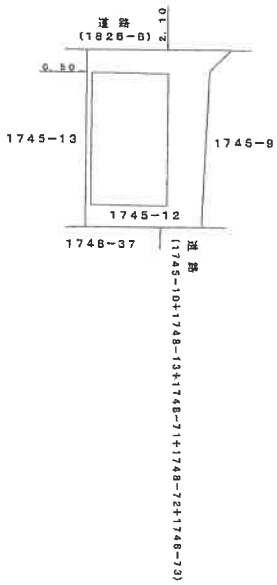
7.40	× 12.40	=	91.7600
		床面積	91.76㎡

2階



求積表

7.00	× 8.00	=	56.0000
6.00	× 4.00	=	24.0000
		合計	80.0000
		床面積	80.00㎡





作製者	[redacted]	縮尺	1/250

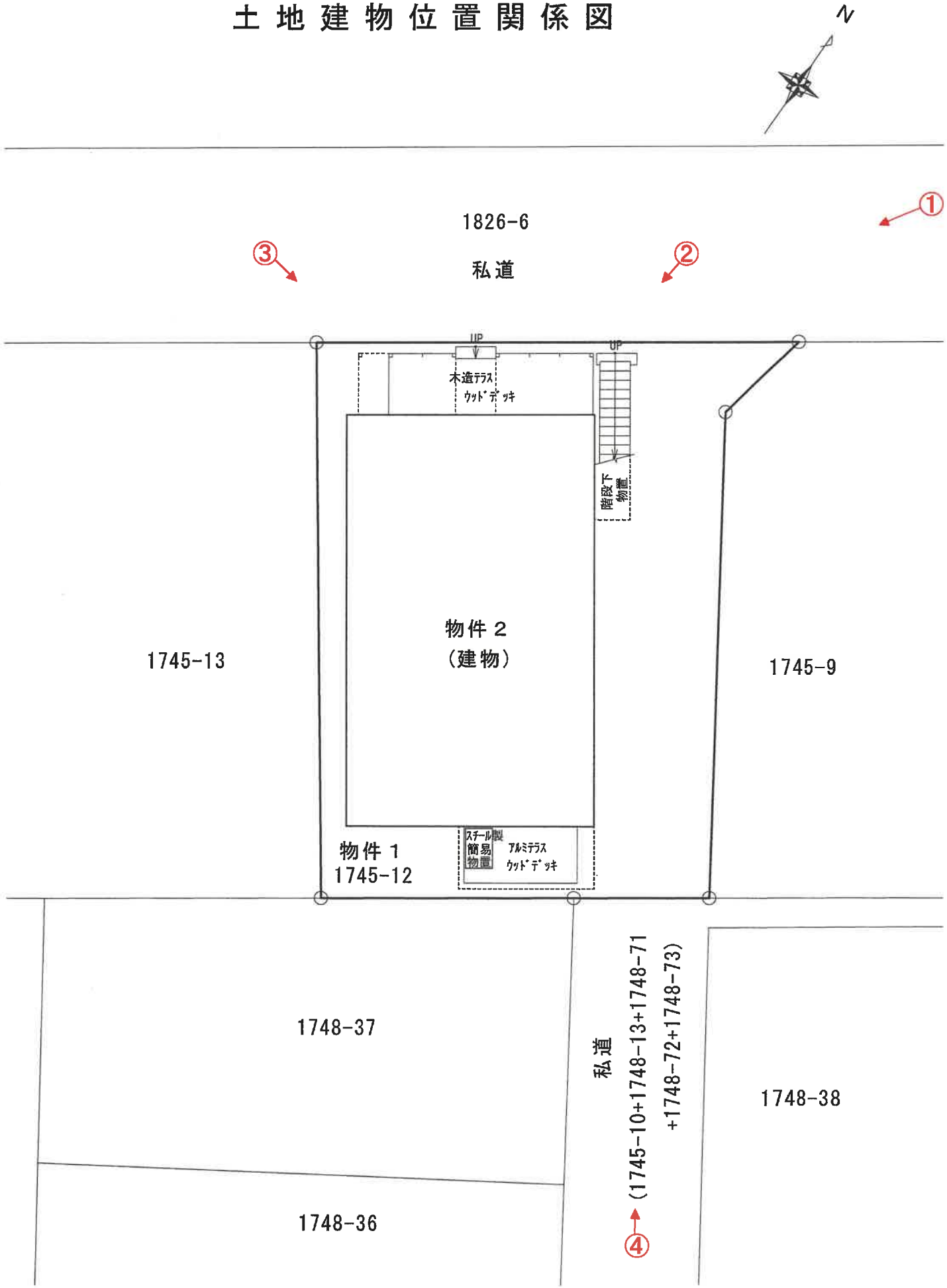
申請人	[redacted]	縮尺	1/500

建物図面・各階平面図写し
A3をA4サイズに縮小

[redacted]

請求番号：45-2

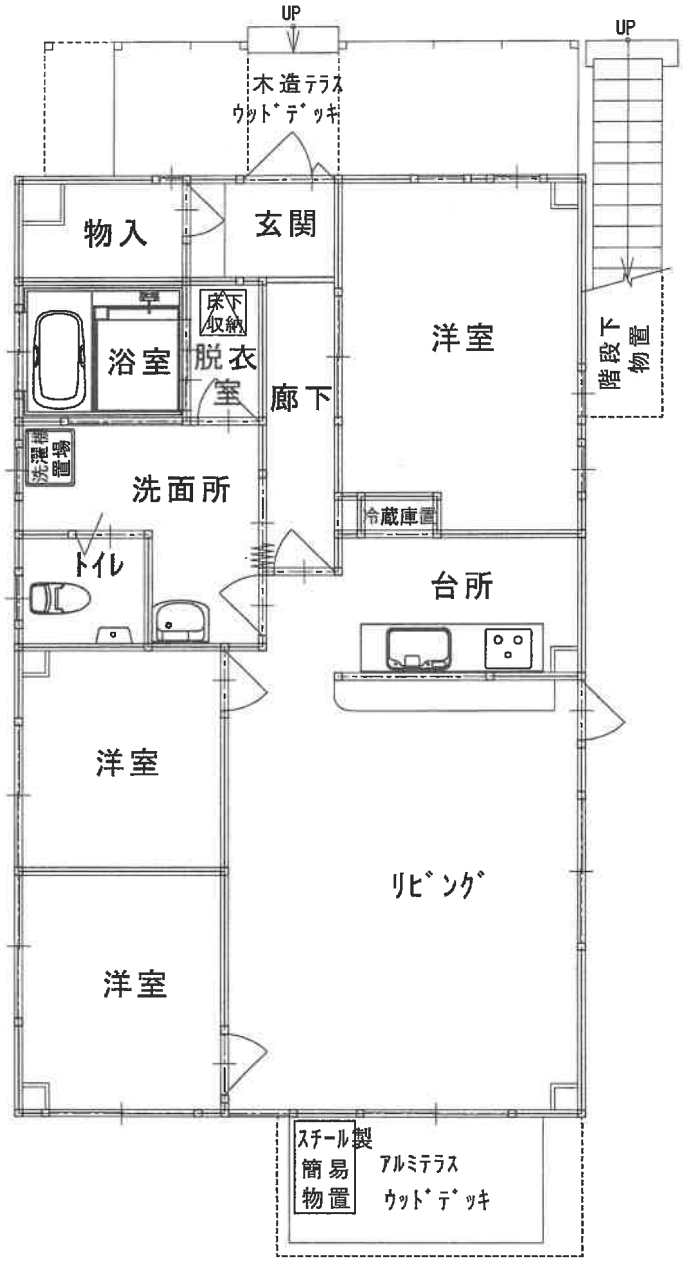
土 地 建 物 位 置 関 係 図



番号矢印：写真撮影位置

※ 本図面は概略図であり、正確な図面ではありません。

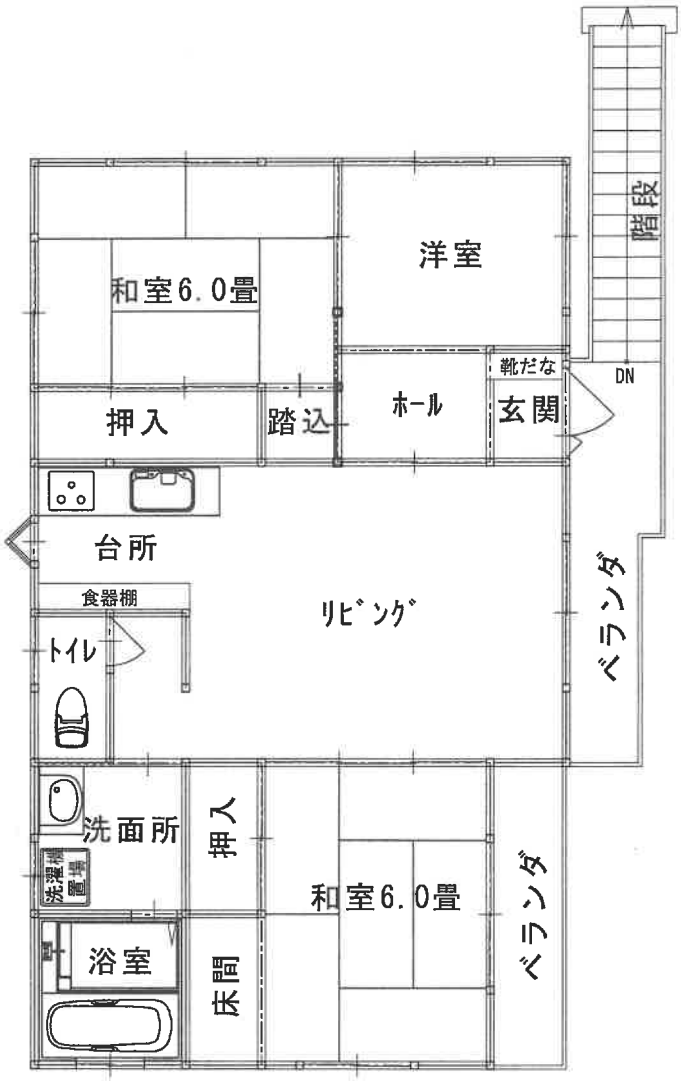
建 物 間 取 図



1階　平面図

※ 本図面は概略図であり、正確な図面ではありません。

建 物 間 取 図



2階　平面図

※ 本図面は概略図であり、正確な図面ではありません。

写真①



写真②



写真③



写真④

